

座右の銘をさらり
と書く西條社長「時には勢いよく」
心に響く座右の銘

取材後記 座右の銘をお願いすると「渓流のごとく清々しく爽やかに時には勢いよく」と筆でさらりと書いていただきました。西條社長の企業経営もこの通りで本当に心に響きました。

国内客を増やすか、またはインバウンドを増やすのか。北海道の中でも今まで小樽は人気が高く、多くの観光客が来ます。時には勢いよくも今の小樽には必要かもしれません。

イタリア・ベネチア出身の友達を小樽に連れてきたとき、友人は「運河にボートがある。そして古い建物が多く情緒豊かだ。なんて故郷ベネチアに似ているのだろうか」と話してくれました。私は誰もが憧れる町と小樽が似ているなんて思ったことがあります。

自分たちが気付いていない魅力が小樽には隠れている。もっと変貌できる小樽を、北海道観光大使として応援したいです。

◆青山 千景(あおやま・ちかげ) 1986年(昭61)1月17日生まれ、札幌市出身の32歳。北海学園大卒。17年北海道観光大使に就任。14歳でテレビCMデビュー、19歳からSTVラジオのパーソナリティーを務め、TVh旅コミ北海道リポーター歴10年で道内179市町村2回り目を敢行中。

△西條 文會(さいじょう・ふみゆき) 1952年(昭27)6月7日生まれ、小樽市出身の66歳。小樽潮陵から橋大に進み、ゴルフ部に入部。卒業後の76年に三菱商事に入社し、セメントの東日本輸出や珪砂けいさの輸入、国際貿易を担当する。明るい性格で、2000年にCD制作部門に就任。趣味はスポーツと音楽で、2002年に2回ディナーショーを開催。歌手としても活躍中。次男・公敏常務はレベル

社長に就任されましたが順調でしたか? 入社時に常務として入り、平成3年に社長に就任されました。趣味はスポーツと音楽で、2002年に2回ディナーショーを開催。歌手としても活躍中。

△西條 文會(さいじょう・ふみゆき) 1952年(昭27)6月7日生まれ、小樽市出身の66歳。小樽潮陵から橋大に進み、ゴルフ部に入部。卒業後の76年に三菱商事に入社し、セメントの東日本輸出や珪砂けいさの輸入、国際貿易を担当する。明るい性格で、2000年にCD制作部門に就任。趣味はスポーツと音楽で、2002年に2回ディナーショーを開催。歌手としても活躍中。次男・公敏常務はレベル

古い建物 数多く残る小樽のまち

観光協会会長も兼務

小樽観光協会会長も兼務されています。昔から観光都市の展望を見据えています。

29歳で三菱商事を辞めました。

小樽に戻ってきましたが、高

度経済成長が続き、自らが

働く東京へ海外取引をす

る仕事をしていました。

帰った時は運河埋め立て問題

の真っただ中で、観光都市と

して脚光を浴びる前でしたか?

小樽に戻った時はタイムスリ

ップしたような感覚でした

――会社を継ぐことは宿

命と捉えていたのですね。

父がつくった会社ですが、

うなぎの巻で、観光都市と

して脚光を浴びる前でしたか?

父がつくった会社ですが、

うなぎの巻で、観光都市と

して脚光を浴びる前でしたか?